

経営比較分析表（令和元年度決算）

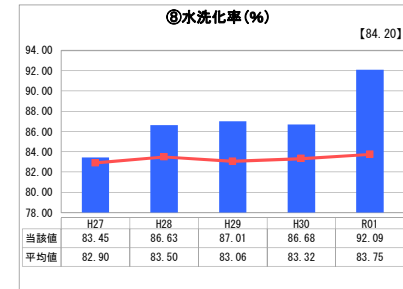
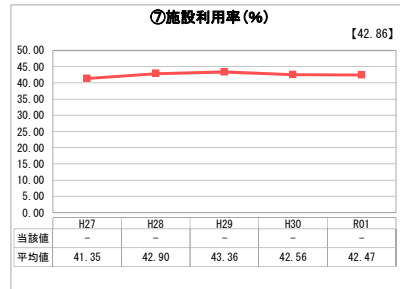
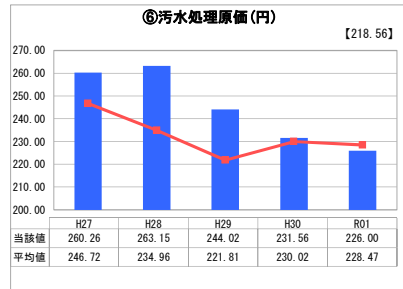
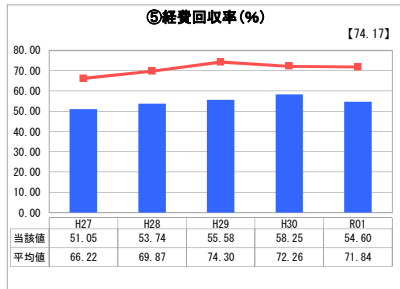
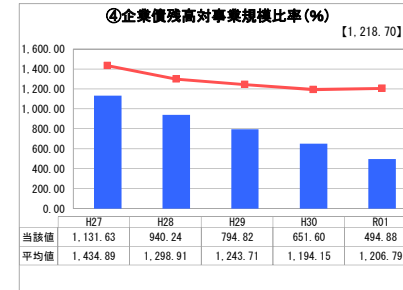
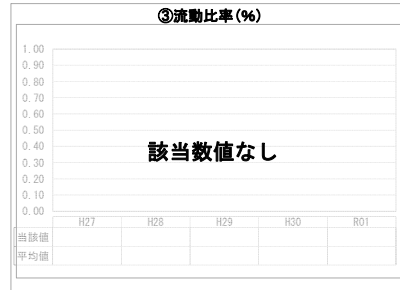
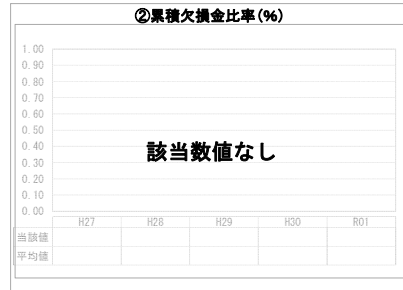
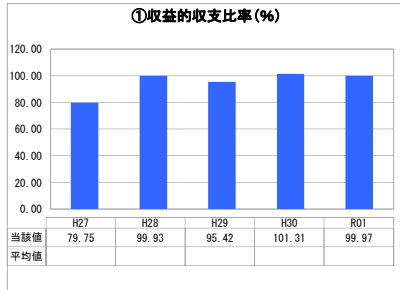
千葉県 白井市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	10.48	83.89	2,200

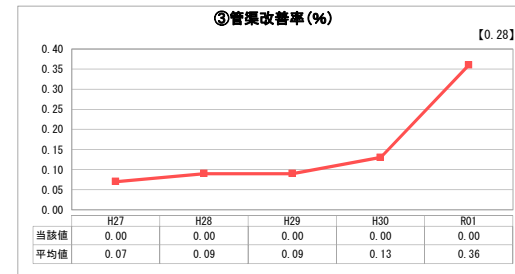
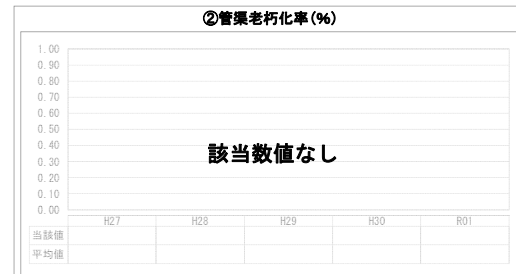
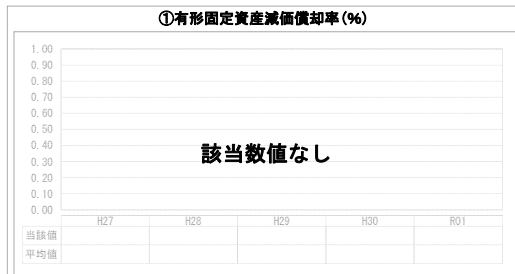
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
63,324	35.48	1,784.78
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,639	1.65	4,023.64

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、使用料収入の増により、前年度は100%を超えるものとなりましたが、今年度については、企業会計への移行による打切決算により下回る結果となりました。
 経費回収率についても、同様の理由により前年度を下回りましたが、汚水処理原価は改善方向に向かっています。
 経費回収率及び汚水処理原価は類似団体平均値を下回っている状況が続いているため、引き続き経営改善に向けた取り組みを行います。
 また、企業債残高対事業規模比率については、類似団体平均値を下回っている状況であり、水洗化率については、印旛沼流域下水道認可区域の市街化調整区域における宅地開発により、平成28年度から水洗化率が上昇し、類似団体平均値を上回っています。

2. 老朽化の状況について

特定環境保全公共下水道事業は、平成6年供用開始で25年経過した管渠であるため、老朽化していない状況ですが、ストックマネジメントの手法を用いて点検・調査を行い、管渠の状態の把握に努める必要があります。

全体総括

当市の経営では、特定環境保全公共下水道事業と公共下水道事業を分けていないことから、公共下水道の収益により特定環境保全公共下水道事業の安定を保っておりますが、直近数年間の特定環境保全公共下水道事業の経営は状況の改善傾向が見受けられるものとなっています。
 また、汚水施設設備の新規投資はある程度終了することから、今後は、既存施設のストックマネジメントによる点検・調査を踏まえ、管渠等の良好な状態を維持管理してゆくものとします。
 なお、更なる経営の健全化を図るため、令和2年度より公営企業会計を適用します。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。